

サビの発生抑える

下塗り 塗料用 エマルジョン開発

アミ
フケ
成ケ
大イ

えられる。
市場に出回っている建
材基材や塗料に含まれる
添加剤などはマイナスイ

オンを持つものが多い。
プラスイオンのみを使っ
たエマルジョンの下塗り
塗料を使うと、一般的に
上塗り塗料と接触した場
合、凝固してしまう。プ
ラスイオン系エマルジ
ョンのニーズはあるが、凝
固を解決できず実用化で
きないでいた。

【千葉】大成ファインケ
ミカル(千葉県旭市、稲生
豊人社長、0479・64
・2077)は、アルミニ
ウムなどの金属にも使え
る下塗り塗料用エマルジ
ョン(乳濁液)を開発し
た。粒子中にプラスイオ
ンとマイナスイオンが共
存、プラスイオンが働い
てポードやアルミなどの
アルカリ基材に強く密着
する。基材の表面を平ら
にする効果もあり、金属
の表面処理剤としても使
える。建材向け塗料や印
刷インク、塗料メーカー
をターゲットに年間15
00トの販売を見込む。

今回開発したエマルジ
ョンは、プラスイオンの
成分を持つマイナスイオ
ン粒子を含む。マイナ
スイオン系の添加剤や色剤
に接しても固まらない
が、プラスイオン系エマ
ルジョンの良さである密
着性の高さや塗装しやす
さを生かした。
従来、金属加工会社は
錆への不安から石油系の
溶剤を使うケースが多
く、揮発性有機化合物
(VOC)規制への対応
が遅れていた。同社が開
発したエマルジョンを使
うと錆を極力抑えられる
ため、水性塗料に切り替